

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 豊明日本語教室「プラス エデュケート」

1. 事業の趣旨・目的

高校受験を予定している生徒に教科理解をするための日本語と、作文(面接)指導を行い、無事合格できるまで導く。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
12月3日	愛知教育大学	上田崇仁 岡田安代 西山幸子 森 顕子	今後のスケジュールの検討およびカリキュラム作成	1月からの開講に際し、チラシの配布場所や自治体との調整、カリキュラムの作成などを大まかに決定。

【写真】



3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 高校受験をする外国籍生徒のための日本語・作文講座
- (2) 開催場所 豊明日本語教室「プラス エデュケート」
- (3) 学習目標 高校受験をする生徒たちが、高校入試で問われる作文力や面接力をつけ、彼らの進学への道筋をつけることを目標とする。
- (4) 使用した教材・リソース 高校入試受かる作文(高校入試研究会編 学研)、高校入試面

接対策(旺文社)、攻略 作文問題(富士教育)、漢字読み書き(教学研究社)ほか

(5) 受講者の募集方法

豊明市、知立市、刈谷市の3市には教育委員会へ直接手渡しし、学校へ配布

名古屋市、東郷町、豊田市、安城市、碧南市、高浜市、みよし市には教育委員会に連絡後、郵送にてチラシを送付。

(6) 受講者の総数 10人

(出身・国籍別内訳 ブラジル 3人, ペルー 2人, フィリピン 4人 中国 1人)

(7) 開催時間数(回数) 60時間 (全 20回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	受講者数	国籍・母語(人)	教授者・補助者人数	内容
①	1月10日 16:30~18:30	2時間	4人	ブラジル・ポルトガル語(2人) 中国・中国語(1人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者2人 補助者2人	漢字学習 小学生で学習した漢字を復習
②	1月14日 13:00~17:00	4時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(3人) 中国・中国語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) ペルー・スペイン語(2人)	教授者2人 補助者3人	作文を書く前に(作文のルール) 自分の母国や来日歴、家族などを話せるようにする。
③	1月17日 16:30~18:30	2時間	5人	ブラジル・ポルトガル語(3人) 中国・中国語(1人) フィリピン・タガログ語(1人)	教授者1人 補助者3人	14日の内容で作文を書いてみる。誤字に注意して。
④	1月21日 13:00~17:00	4時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(3人) 中国・中国語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) ペルー・スペイン語(2人)	教授者2人 補助者3人	自分の将来、夢志望動機などを整理し説明できるようにする。
⑤	1月24日 16:30~18:30	2時間	4人	ブラジル・ポルトガル語(2人)	教授者2人 補助者1人	外国人特別枠・私立受験者

	30			中国・中国語（1人） フィリピン・タガログ語（1人）		のための面接練習と作文
⑥	1月28日 13:00～17:00	4時間	8人	ブラジル・ポルトガル語（3人） 中国・中国語（1人） フィリピン・タガログ語（2人）ペルー・スペイン語（2人）	教授者2人 補助者4人	部活・委員会・学校行事など中学校での活動について、考え発表させる。

⑦	1月31日 16:30～18:30	2時間	2人	ブラジル・ポルトガル語（1人）中国（1人） ※インフルエンザの流行のため2人欠席	教授者2人 補助者1人	中学校生活の思い出について作文を書かせる。
⑧	2月4日 13:00～17:00	4時間	7人	ブラジル・ポルトガル語（3人） 中国・中国語（1人） フィリピン・タガログ語（2人）ペルー・スペイン語（1人）	教授者2人 補助者4人	日本の印象や母国との違いなどを考えさせ、発表させる。
⑨	2月7日 16:30～18:30	2時間	3人	ブラジル・ポルトガル語（1人） 中国・中国語（1人） フィリピン・タガログ語（1人）	教授者1人 補助者1人	2月4日の内容（日本にから）で作文を書かせる。
⑩	2月11日 13:00～17:00	4時間	8人	ブラジル・ポルトガル語（3人） 中国・中国語（1人） フィリピン・タガログ語（2人）ペルー・スペイン語（2人）	教授者2人 補助者3人	自分の長所・短所、特技、趣味などについて考え、発表する。
⑪	2月14日 16:30～18:30	2時間	5人	ブラジル・ポルトガル語（2人） 中国・中国語（1人） フィリピン・タガログ語（2人）	教授者2人	自分の長所・短所、趣味・特技などについて作文させる。

⑫	2月18日 13:00~17:00	4時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(3人) 中国・中国語(1人) フィリピン・タガログ語(2人) ペルー・スペイン語(2人)	教授者2人 補助者4人	尊敬している人、感動したこと、好きな言葉など様々な質問に答えられるようにする。
⑬	2月21日 16:30~18:30	2時間	4人	ブラジル・ポルトガル語(2人) 中国・中国語(1人)、フィリピン・タガログ語(1人)	教授者2人 補助者2人	18日にやったテーマの中から2つを選び、作文させる。
⑭	2月25日 13:00~17:00	4時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(3人) 中国・中国語(1人)、フィリピン・タガログ語(2人) ペルー・スペイン語(1人)	教授者2人 補助者3人	本番を意識した時間制限の中で作文を仕上げる。(2題)
⑮	2月28日 16:30~18:30	2時間	6人	ブラジル・ポルトガル語(3人) 中国・中国語(1人)、フィリピン・タガログ語(2人)	教授者2人 補助者2人	漢字の学習 (対義語・同音異義語など)
⑯	3月3日 13:00~17:00	4時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(3人) 中国・中国語(1人)、フィリピン・タガログ語(3人)	教授者2人 補助者4人	全員への面接・作文での注意事項確認と集団・個人面接練習
⑰	3月6日 16:30~18:30	2時間	5人	ブラジル・ポルトガル語(1人) 中国・中国語(1人)、フィリピン・タガログ語(3人)	教授者2人 補助者1人	入試直前の語句・語彙練習
⑱	3月10日 13:00~17:00	4時間	4人	フィリピン・タガログ語(3人) ブラジル・ポルトガル語(1人)	教授者3人 補助者0人	本番の入試模擬(面接・作文・読解問題)
⑲	3月13日 16:30~18:30	2時間	4人	フィリピン・タガログ語(3人) ブラジル・ポルトガル語(1人)	教授者2人	前期入試の反省及び後期対策
⑳	3月17日	4時間	3人	フィリピン・タガログ	教授者2人	後期試験対策

	13 : 00~17 : 00			語 (3 人)		
--	--------------------	--	--	---------	--	--

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)



1 月 21 日 (土) テーマ:高校について考えよう

参加生徒 8 人

13:00~13:45 まず夢や仕事、志望動機について考えさせ必要だと思われる語彙を増やす。

例 将来 職業 専門学校 大学 保育士 会社員 志望理由 抱負など

13:45~14:45 教師オリジナルのワークシートにそれぞれ書き込ませる。

例 大人になったら何がしたいですか。 それはなぜですか。20 歳の自分は何を
やっているといますか。 大人になったらどんな仕事をしたいですか。

あなたの両親はなにをしていますか。なぜその高校に行きたいですか など

14:45~15:00 休憩

15:00~16:20 ワークシートの答えを参考にしながら、短文を重ね 5~6 文くらいで将来の夢、
なりたい職業、志望動機について書けるようにする。

16:20~16:35 休憩

16:35~17:00 みんなの前で発表する。

3 月 3 日(土) テーマ 本番前の面接・作文指導

参加生徒 7 人

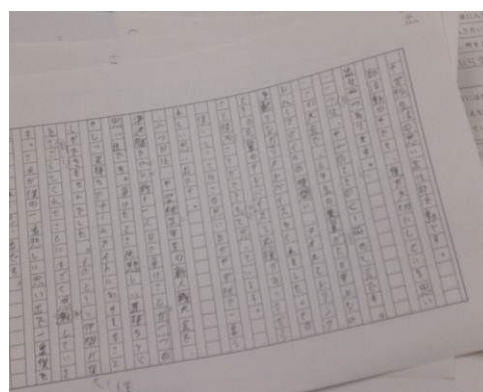
13:00~13:45 本番を前に各自受験番号・集合時間、交通手段、持ち物などを確認させる

13:50~14:50 本番と同じ形式で、作文を書かせる。

15:00~15:30 作文の添削・修正

15:30~16:50 各自面接練習(個別・集団)

16:50~17:00 本日の講義の確認





4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

高校受験をする生徒たちが、高校入試で問われる作文力や面接力をつけ、彼らの進学への道筋をつけるという目標はほぼ達成できた。

(2) 学習者の習得状況

どの生徒も、一通りの面接問答はできるようになり、かつ作文も書けるようになった。推薦試験を受けた生徒は見事合格を手にした。(3月17日現在)

(3) 日本語教室設置運営の効果, 成果

教室のある豊明の生徒はもちろん、刈谷市や東郷町、知立市などからも参加があった。また参加した生徒たちは、前向きに取り組み、学校の指導でも評価が高かったようだ。特に面接では、普段使わないような言葉や丁寧な言葉使い、礼儀作法なども必要となる。はじめて受験をする生徒たちは、はじめは全くわからず、緊張していたようだが、何度も練習を繰り返し、本番では落ち着いてできたという報告が多数だった。

(4) 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

まず今回の事業は、普段からつきあいのある各市教育委員会への告知をしっかりとした。また、愛知教育大学の関係者に運営に携わってもらえたため、効率の良い充実した内容

を、行うことができた。

(5) 改善点, 今後の課題について

① 現状

火曜日と土曜日に教室を開催していたが、やはり火曜日は、地理的な理由で来られないという生徒がいた。内容については、改善するところは特にはないと思う。非常に効果があったと思う。講座のことを知った日本人の生徒が「僕たちもやってほしい」といつてきたこともあった。

② 今後の課題

教室に通いたくても、交通手段がないという理由で来られない場合があった。(車がない、送ってくれる人がいないなど)また、経済的な理由で公共機関をつかえないという場合もあった。これはわが団体の課題だが『送迎』ができるような方法を考えなければいけない。もしその点を克服できれば、より多くの生徒が通えるようになっていたと思う。

③ 今後の活動予定, 展望

これからも地域の課題として、外国籍生徒の日本語指導、進学指導には力を入れていきたいと考えている。今回の作文講座を行うことで、ほぼ全員が高校受験をした。結果はまだすべてでていないが、進学できるという道筋をつけることで、後に続く子どもたちの励みになるよう、活動を続けていきたい。